

問う 市長のあったか市政を

一般質問

9月定例会では26・27・28日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
三輪 かずよし



一般質問

梶原秀明 議員（日本共産党）

2018年国保の県広域化への対応



国民皆保険を支える国保で安心の医療を

所得水準は県平均よりやや高く、費水準は県平均よりやや低い。②加入者の所得に占める保険料の割合は、国保

市民生活部長 ①蕨市の医療費水準と所得水準はどうか。
②国保加入者の負担はどうか。
③税率の検討はどうか。

国保は、医療を受ける人が多いこと、低所得者が多いこと、国の補助が減り加入者の負担が重いとの課題がある中、県内でも低い税率に抑えてきた市の努力を、広域化後も続けるべきだ。①蕨市国保の医療費水準と所得水準はどうか。

②国保加入者の負担はどうか。③税率の検討はどうか。

市長の見解はどうか。國が財政的責任を果たすのが一番だと、市長として発言してきた。法律改正を踏まえ、国民皆保険の要であるといつ国保の意義、市民のくらしを守るという市政運営の基本を堅持しつつ、新しい制

度と低い。②加入者の所得に占める保険料の割合は、国保率の見直しを据え置いて、頑張ってきたことを考慮しながら検討したい。

市民生活部長 これまで、税率の見直しを据え置いて、頑張ってきたことを考慮しながら検討したい。

議員 広域化しても一般会計から国保会計への繰り入れをすることを国も認めている。低・中所得の加入者の負担感が重いことなどを考慮して、検討してほしい。

議員 ①古い耐震基準で建てられている住宅の戸数はどうか。②国の補正予算（補助金）との違い、加入者の負担、市の財政状況などを総合的に勘案して検討していく。

歩道橋に手すりを設置を進めてほしい。

市民生活部長 これまで、歩道橋について「時々利用するが、年を重ねてみると手すりが必要」とのご意見がある。設置を進めてほしい。

議員 蕨陸橋西交差点の北町1歩道橋について「時々利用するが、年を重ねてみると手すりが必要」とのご意見がある。設置を進めてほしい。

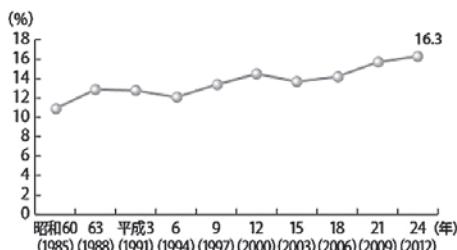
議員 ①古い耐震基準で建てられた住宅の戸数はどうか。②国の補正予算（補助金）との違い、加入者の負担、市の財政状況などを総合的に勘案して検討していく。

議員 ①平成25年調査では、（旧）基準の昭和55年までに建てられた住宅は、一戸建て3千290戸、長屋建て130戸、共同住宅3千30戸。②制度活用を積極的に検討したい。

歩道橋で手すりがないものが、北町1歩道橋と塚越の県道にかかる2橋ある。さいたま県土整備事務所に要望する。



敬老祝金制度の抜本的な見直しを図り、 子どもと高齢者の貧困対策に財源移譲を！



子供の相対的貧困率の推移
(出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」)

議員 深刻さを増す子どもや高齢者の貧困は、大きな社会問題となつてゐるが、2025年問題を見据えて、福祉施策の財源確保の観点から、どのように考へていらるのか。

総務部長 我が国において、少子高齢化の急速な進行により、2025年頃に超高齢社会が到来すると言われている。本市の財政についても、扶助費の増や後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計への繰り出金の増の一方、15歳から64歳の生産年齢人口の減少による市民税の減が見込まれることを考慮するに際して、

補助金の活用や市税を初めとする自主財源の確保を図るとともに、健康づくり事業や介護予防事業など市民の健康寿命を延伸し、医療費や介護費用の急増を防ぐ施策を推進することが重要と考えている。敬老祝金支給人數と支給額が年々増加傾向にあることを認識している。

議員 敬老祝金支給人數と支給額が年々増加傾向にあることを認識しているのか。

健康福祉部長 団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度には、支給人数、支給額ともに平成27年度決算時の約1.6倍になることが見込まれており、今後大きな財政負担になると認識している。

議員 来年度予算編成の際、敬老祝金制度の抜本的な見直しを行つ考へはないか。

健康福祉部長 今後さらなる支出増加が予測されるとことであるが、1つの事業を見直し、その財源を別の事業に充てるには、市全体

での総合的な判断が必要であると認識している。本制度について、行政評価において

「その他見直し」とされ、「事業縮小を課題としての調査・研究」との方針性が示されたことや、昭和31年より続けられ、多くの方に喜ばれている事業であることをから、そぞしこうむと考へられる。



いちのせき かずいち

市庁舎の耐震化整備に向けた取り組みについて



桶川市の仮設庁舎（桶川市ホームページより）

議員 地方自治法第161条や市条例では、副市長を置く規定があるが、5年間以上も空席状態であり、法令遵守の觀点から来期は必ずよむに考へているのか。

総務部長 耐震化整備の最終的な方向性を定めるに当たつては、専門家を招いて検証すべきと考えるが、見解はどうか。

では、市民や議会、有識者等を含む審議会等による検討が必要と認識しており、市内での検討委員会の検討結果についても、審議会での議論の基礎資料としていただきたいと考えてある。あわせて、整備内容等を検証するための専門的な能力を有する事業者の支援等も検討していきたい。

議員 副市長を置いていないことは、法的な問題は生じないと考へている。人事案件については、長が諸般の状況を総合的に検討し、時期を含めて適切に判断をしつづくものと考へていい。

総務部長 副市長を置いていないことについては、法的な問題は生じないと考へている。市内年度4月1日以降の副市長人事案件については、長が諸般の状況を総合的に検討し、時期を含めて適切に判断をしつづくものと考へていい。

議員 防犯カメラの設置促進を

では、市民や議会、有識者等を含む審議会等による検討が必要と認識している。市内での検討委員会の検討結果についても、審議会での議論の基礎資料としていただきたいと考えてある。あわせて、整備内容等を検証するための専門的な能力を有する事業者の支援等も検討していきたい。



おおいし こういち

休館を伴う蕨市民会館耐震工事時に老朽設備の改修を！



議員 市民会館等の耐震補強等工事を設けた工事内容に長寿命化は含まれていないと聞いています。市民会館等の長寿命化をどう考えていくのか。

総務部長 今年度策定する公共施設等総合管理計画において示される公共施設の管理に関する基本的な考え方に基づき、施設の長寿命化のための大規模改修や更新の時期についても検討する。

舞台床・座席・空調設備などの改修を

議員 コンクリートホールの舞台床は、化粧板の下地が露出するほど傷んでいる場所が相当あり、さくら立つていて危険なため、硬化剤でそれを塗り固めているなどの処置を行っているのか。

総務部長 今後予定されている市内個人商店数は15年で半減！ 市内商店の活性化について

議員 市内の商店数が減っていふ中、本市としての再生案はどういうふうに考えているか。

議員 自分の体を大切にするこことやお互いの性を尊重するというような小・中学校の性教育を含めた健康教育の状況はどのようなか。

議員 小学校では「体の発育・発達」を、中学校では「心

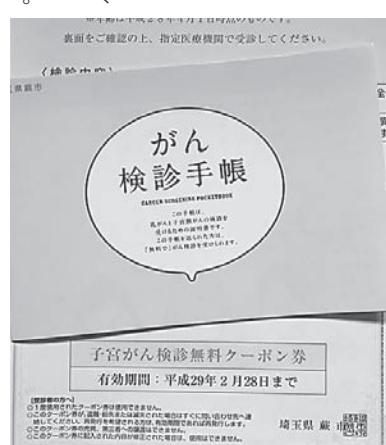
議員 健康面の指導のほかに、骨粗しそうの症に特化した事業ではないが、運動について幾つかコースがあり、相談者には必要に応じて紹介している。

議員 ラジオ体操やウォーキングで多くの人が利用する市民公園の健康遊具の増設を考えている。

〇ここに掲載されている質問と答弁の内容は要約しています。

一般質問

女性が活躍するための健康づくりを考える



議員 健康づくりの環境整備について



おおいし けいこ

議員 今、子宮頸がん検診は20歳乳がん検診は40歳が無料クーポン券を受けられ、その年齢以外でも500円で受けられるが、なかなか受診率が上がらない。

議員 成年式での受診勧奨や乳房模型の活用など女性の集まる場所への積極的なアプローチをしてはいかがか。

議員 「わらび健康アップ計画情報紙」のウォーキングマップを作成済み、ハンディタイプにまとめた考査はある。また、ウォーキング歩数にポイント制を導入する考査はあるか。

〇ここに掲載されている質問と答弁の内容は要約しています。

議員 予算の問題があるが、地元町会や利用者の要望等が多くあれば検討する。

議員 保健センター発行の「わらび健康アップ計画情報紙」のウォーキングマップを5地区作成後（北町・錦町は作成済み）、ハンディタイプに介護予防に有効と言われているが、60歳以上の女性の受診率の7割が、要注意・要精密検査という傾向を介護予防事業にどう反映させているのか。

議員 ハンディタイプでは、地域の意見を参考に今後検討していく。ポイント制度は、県で導入が進められており、「健康マイレージ」の進捗状況等を注視し検討する。

〇ここに掲載されている質問と答弁の内容は要約しています。

西公民館へのエレベーター設置を



エレベーターがない西公民館

議員 西公民館へのエレベーター設置を求める。

教育部長 必要性は認識する。策定中の蕨中公共施設等総合管理計画の中で、公共施設全体の方針を示す。

議員 エレベーター設置費用の見積りについてどうつか。

教育部長 参考として、平成15年度に設置した南公民館では2千767万円、東公民館では2千972万円がかかった。

議員 足腰が弱り2階以上がれないために、楽しみにしていた敬老会に出ることを諦めお年寄りもいる現状を市

議員 西公民館へのエレベーター設置を求める。

教育部長 必要性は認識する。策定中の蕨中公共施設等総合管理計画の中で、公共施設全体の方針を示す。

議員 エレベーター設置費用の見積りについてどうつか。

教育部長 参考として、平成15年度に設置した南公民館では2千767万円、東公民館では2千972万円がかかった。

議員 足腰が弱り2階以上がれないために、楽しみにしていた敬老会に出ることを諦めお年寄りもいる現状を市

市長 遠慮せずに公民館スタッフに声をかけていただければ、昇降の介助をする。

議員 他人事のよくな 답변は残念だ。予算編成権を持つ市長が決断すれば、エレベーター設置はすぐに出来る。平成27年度決算は好調で、公共施設改修基金は13億6千623万円まで積み上がった。このお金は、いついつ時に使うものではないのか。

市長 財源に限りがある中で、安全に関わるもの優先しながら、予算措置している。

議員 決壊の時はどうなって何メートル床上浸水した」などの情報を集めて公開してほしい。

教育部長 所有する資料の量や個人情報、著作権等の問題で、すべてを公開することは難しい。新たな発見や成果を得た時には、より充実した内容となるよう改善に努める。

議員 足腰が弱り2階以上がれないために、楽しみにしていた敬老会に出ることを諦めお年寄りもいる現状を市



ほや たけし

あつたか市政を問う

東京オリンピック・パラリンピックに向けた本市の取り組みは

議員 1964年の東京オリンピックでは、市内田中山道上町火の見やぐら前で聖火が引き継がれた。4年後もぜひとも本市に聖火リレーの中継点を誘致すべきと考えるがどうか。

総務部長 現時点ではルートの決定方法等は未定であり、引き続き、国や関係機関等の動向を注視するなど、早期の誘致活動の着手に取り組みたい。

議員 埼玉県内で聖火を分割して注視するなど、早期の誘致活動の着手に取り組みたい。

議員 埼玉県内で聖火を分割して、山道や日光街道・川越街道など、県内の由緒ある道を使う複数ルート構想も考えられると思う。そうなれば、各地域との交流を深め、また、すべての人々が安心して暮らしていけるノーマライゼーションの実践にもつながる。そして、必要となる施設や道路等の整備には、関係自治体に支援を行つよう国・県に要望することが肝要だと考えるがどうか。

議員 野球場利用団体との検討して総合的に判断する。

議員 野球場利用団体との検討して総合的に判断する。

総務部長 9月に国土交通大臣を訪問し、聖火リレールートの説明を要望した。今後

議員 も誘致に向けて活動したい。

議員 一生のうちに一度あるかないかの思い出を、オリ・パフ競技の観戦・応援も含め、今の子どもたちにも提供できるように考えていくか。

教育部長 子どもたちに、貴重な経験をさせることは非常にすばらしいことだと思う。どういった形で子どもたちに提供できるのか今後検討したい。

議員 来訪する外国人に向けて埼玉県南地域をPRすることによって、スポーツを通じた国際交流、ひいては地域経済の活性化につながるものと思つが、いわゆるインバウンド効果については、現時点でのどのように予測しているか。

議員 市の防犯力・防災力の強化を図るために取り組み」について質問。

議員 9月に国土交通大臣を訪問し、聖火リレールートの説明を要望した。今後



1964年東京オリンピックの聖火リレーの様子



いけがみ ともやす

増加する豪雨による 浸水等への対策について



現在、土のうステーションは市内7か所に設置（中の宮公園）

議員 シヨンの現在の設置箇所は適切と考えるが、増設の要望があれば検討したい。また、広報やホームページなどを通して周知や啓発に努めたい。

議員 市民が個別に適切な対応を行う上で、豪雨時、市が観測した降雨状況等の情報を市民に提供する考えはないか。

市民生活部長 現在、台風接近による浸水被害が予想される場合等、市ホームページで雨量見込み等をお知らせしている。台風以外の場合も難しい。今後研究したい。

市民生活部長 時間雨量は最大59.5ミリ（1時間毎の測定値の最大。10分毎の測定値で連續する1時間合計の最大値は59.5ミリ）。市内で、床上浸水7件、床下浸水8件の被害が発生。また、道路冠水36か所通行止め5か所。1号体制を発令し対応した。

災害発生の際に集中する市民からの通報に対応する特別の体制が必要。検討を求めるに、土のうは豪雨前に準備するのが最も効果的だか事前の準備ができないまま冠水や浸水に見舞われた市民もいる。冠水箇所のより近くに土のうステーションを増設することや事前に活用を呼びかける対応が必要ではないか。

健康福祉部長 昨年度は、昌等の主催する研修5件に延べ36人。市の実施する研修に34人が参加している。

等を随時公表する」とは防犯上に有効。ぜひ検討を。



すずき さとし

• 一般質問

JR蕨駅のホームドア設置について



まえかわ やすえ

議員 設置に対する市長の解説はどのようにおつつか。
市長 既に2回、JR等と協議をしてくる。全体の事業がどの程度かかつて、市の担当がどうなるのかについて協議をしていく必要がある。基本的に市民の安全・安心のために、設置が必要だと感じたことで、今後も積極的に議論していくべきだ。

が、一例としていたまにねこでは、浦和駅及びさいたま新都心駅への設置に対し、それぞれ6千万円の補助金を交付する予定となつてゐる。今まで、障害者の団体から、ホームドア設置等の要望はあつたのか。

JRにかかる
橋りょうの整備を
議員 線路上にかかる橋はどう
こが管理しているのか。
都市整備部長 市内にかかる
跨線橋は、橋で、県が管理し
ている川口蕨陸橋を除き、ハ
橋は本市が管理している。
議員 もびて茶色くなつてい
るのが目立つ橋があるので
安全対策や美観の観点からモ
モびを落として、ベンキを施
すことを早急にお願いしたい。

後回保育施設の設置について
市立病院内への設置も含めて
お願いをしたところだが、そ
の後の取り組みはどのようか
健康福祉部長 クリーツク併
設型による事業が望ましいと
の観点から、医院に向けて
病児・病後児保育事業受託の
依頼をさせていただいたが
応じていただけの医院がなか
つたことから、現在は保育所
併設型での事業開始に向け

みやした 奈美 議員（日本共産党）



日本共産党

イに対する
援について

擁護の推進」等に、着実
り組むことで、人権課題を
理解を広げ、人権を尊重
まちづくりを目指して教
育発展に取り組みたい。

【職員研修で「性的マイ
ノリティ」の講演会を開いて
いがどうか。

部長 今後検討したい。

【性的マイノリティによ
る差別を受ける等の人権侵
害を受けた場合の相談体制や
受けた場合の相談体制や
についてはどうか。

生活部長 人権擁護委員会
の特設人権相談を月1回
。「人権を侵害された」と
申告があつた際は、事実
の調査後、人権侵害が認
めた場合に、相手との関
係調整や勧告等の適切
な救済措置をし、解決
を図る。

議員 小・中学校にお
ける性的マイノリティ
の児童・生徒等に対す
る相談体制、支援体制
の整備はどうのようか。

教育部長 重要な問題



みやした なみ

集中豪雨等における 浸水対策について



貯留容量5,300立方メートルを有する北町1丁目の雨水調整池

議員（新生会）におけるについて



いまい りょうすけ

駅西口市街地再開発事業について

議員（新生会）におけるについて

榎本和孝議員（無所属）

民間に委託しても市としてしつかり関わりを

議員	留守家庭児童指導室（学童保育）の室数、定員、入室児童数及び希望しても入れない児童の学年・人数は。
健康福祉部長	平成28年9月時点です全12室、定員45名、入室児童数52名。希望しても入れないのは1年生3名、2年生2名、3年生9名、4年生17名、5年生20名である。
議員	今後の増室見通しは。
健康福祉部長	平成29年4月に16室となる予定である。
議員	急増する保育需要に指導員の確保が追いつかず、今年度から3室で民間委託が始まつた。市として民間委託に対する基本的な考え方は。
健康福祉部長	市の直営を原則とするが、入室を待ついる方が一定数いるので、確実な開設を優先し、民間委託も想定している。
議員	川口市の学童保育で、男性指導員が女子児童をトイレスに連れ込んだとして8月に逮捕されたが、この事業者と本市の関係、また、事件後の

対応はどのようであったか。

健康福祉部長 本市でも、留守家庭児童指導室の運営を受託している事業者であり、代表者を呼んで状況説明を求めることも、従業員の管理監督・指導を徹底し、再発防止に努めるよう強く要請した。

議員 民間委託事業者における指導員の採用時の資格要件研修はどのようか。

健康福祉部長 事業者が要件研修を定めてやっている。

議員 民間委託した事業者にも、市としてしっかりと関わらせていただきたい。

議員 市は閉店をいつ知ったのか。

市民生活部長 建物の老朽化による取り壊しをするところに、イトーヨーカ堂本社から連絡があり、その後についで、「協議中」とのこと。現在においても今後についで未定とのことです。

A black and white photograph showing a modern architectural complex. In the foreground, there's a building with a large glass facade and a steel frame under construction. To its right stands a very tall, multi-story residential tower with many windows. The sky is overcast.

閉店したザ・プライス蕨店



えのもと かずたか

一般質問

オリンピック・パラリンピック
観戦する機会を子どもたちに

教育長 児童・生徒への
として、こつした機会を
とうえ、世界規模の大会
を実際に見たり、感じた
りするのとは、教育部會
会としても大変すべきこと
いことだと考へてゐる
今後、この東京オリンピック・パラリンピック開
催に関する件について
広い視野で情報収集に努
めながら、本市にもチャ



子どもたちに貴重な体験を

陳情したことは第1歩であり、今後についても継続して、補助金獲得の活動をしてほしいがどうのよろこび考えるか。
市長 今後も、基本的に補助金獲得につながるものについては、積極的に行動していくたいと思ってるが、どういう形が効果的なのか、状況を見て判断していきたい。
ほかに 「蕨駅及び蕨駅周辺の環境改善」について質問。

議員 リオデジヤネイロオリ
ンピック・パラリンピックが
開催され、改めて大会のすば
らしいも、多くの感動を受けた。
4年後には、東京で開催され
るが、スポーツに親しむこと
は楽しき、喜びをもたらし、
知・徳・体の調和のとれた成
長につながる。市民の方々、
とりわけ児童・生徒の皆さん
の人生にとって、またとない
重要な機会になると想えてい
る。すべての児童・生徒にオ
リンピック・パラリンピック
を観戦・応援する機会を設け
るべきだと考えるがどうか。

議員 わざわらたちが選手との
交流イベントに参加する、ま
た、観戦・応援に行くために
費用負担が必要な場合には
ぜひ予算措置をしていただき
たいがどのように考えるか。

議員 する機会というのは、県の教育委員会から話がある可能性もあるので、財政負担の規模にもよるが積極的に対応したいと思ってる。

市長 市長みずから補助金（予算）獲得の活動（陳情）をするところはあるか。

議員 9月に、私自身も参加して、国土交通副大臣に本市の重要な政策課題である8項目を陳情させていただいた。

市長 今回、市長がみずから陳情したこととは第1歩であり



ひき こうじ

子どもの貧困の解決に 向けて



ぽっかぽかの子ども食堂に期待

議員 日本の子どもの貧困率は、過去最悪の16.3%になった。日本共産党は、政府が貧困率の削減目標を設定し、実効性ある施策を早急に実施していくことを求めている。就学援助の新入学用品費の金額と支給時期は。

教育長 7月に小学校2万470円、中学校2万3千550円を支給している。

議員 実情に合わせ3月に支給するよう要望する。子ども食堂の取り組みを、公民館で推進していく考え方。

教育長 「子ども食堂」は、市民団体「ぽっかぽか」が西公民館を会場に今年5月から

議員 実情に合わせ3月に支給するよう要望する。子ども食堂の取り組みを、公民館で推進していく考え方。

議員 児童扶養手当の申請のため、休日の受けを増やしていく考え方ではないか。

健康福祉部長 每年8月の現況届の提出につれて、期間中に1回、日曜日の午前中に受付している。担当する職員の負担等を考慮し、研究したい。

議員 2年以内に手続きをして、支給要件に合えば、さかのぼり支給もできる。8月を過ぎても届け出は受け付ける。

議員 蔿ではたくさんの方で支援策を進められていて、市長の考え方はどうか。取り組んできたが、さらなる改善については、実態等を把握しながら引き続き考えていきたい。「子ども食堂」の取り

議員 要望してきた特別支援学級の新設の見通しと準備状況はどうか。

教育長 来年度、東小学校、西小学校、東中学校に新設する準備を進めている。

議員 川口、草加、さいたま市など、県内19校の中学校に設置されている発達障害・情緒障害通級指導教室の設置を検討しないか。

教育長 さわやか相談員が特別支援教育コーディネーターと協力して、生徒の指導に当たっている。現時点では設置を考えていないが、引き続き指導の状況の把握に努めたい。

議員 1日目は、大森雅夫岡山市長から、岡山市における「地域経済の活性化による魅力と活力あふれるまちづくり」として、広域観光の推進や移住・定住の促進、「コンパクトでネットワーク化された快適



やまわき のりこ

第78回 全国都市問題会議

人が集いめぐるまちづくり ～国内外にひらかれた都市の活力創出戦略～

10月6・7日の2日間にわたり、全国各地より市長・市議会議員・市職員等が参加し、都市の抱える問題や今後の地方自治のあり方について議論する「第78回全国都市問題会議」が岡山市で開催され、本市議会からは4名の議員が参加しました。

今回は、「人が集いめぐるまちづくり」「国内外にひらくれた都市の活力創出戦略」をテーマに講演やパネルディスカッション等が行われ、「人々育てができる若者や女性がまちづくり」として、ワーカーライフバランスの推進等の市政に関する報告がありました。

また、陣内秀信法政大学デザイン工学科教授からは、文化財の保存から歴史・文化を活かしたまちづくりの魅力、水辺空間による交流・文化発信の場としての活用など、都市空間の視点からまちづくりについての提言がありました。

その他にも、森下豊檍原市長から、県と各市町村それぞれがまちづくりに関する連携協定を締結し、相互に連携して事業を進める「奈良モード」の報告等がありました。

2日目は、西村幸夫東京大学大学院工学系研究科教授を



